

独立行政法人日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター核燃料サイクル工学研究所 再処理施設 (2007年度第3四半期)

測定対象	採取		測定		測定値			*比較対照区域	備考	平常の変動幅(注3)
	採取点	頻度	対象	頻度	対象	最小	最大	単位		最小~最大
海水	放出口付近 5点 (5点混合試料について測定)	1回/3か月	全β放射能 ³ H	1回/3か月	全β放射能 ³ H	ND		Bq/L	久慈沖、磯崎沖は第2四半期報告済、第4四半期報告予定。 北約20km点は、第2四半期報告済。	ND
						ND				ND
						ND				ND
	久慈沖及び磯崎沖 2点	1回/6か月	全β放射能 ³ H	1回/6か月	全β放射能 ³ H	ND		Bq/L		ND
						ND				ND
						ND				ND
北約20km点 1点*	1回/年	全β放射能 ³ H	1回/年	全β放射能 ³ H	ND		Bq/L	ND		
					ND			ND		
					ND			ND		
海底土	放出口付近 5点 (5点混合試料について測定)	1回/6か月	核種分析	1回/6か月	⁹⁰ Sr	ND	Bq/kg・乾	0.091	ND~0.13	
					¹³⁷ Cs	ND		ND	ND	
					¹³⁴ Cs	ND		ND	ND	
					¹³² Cs	ND		ND	ND	
					¹⁴⁴ Ce	ND		ND	ND	
					^{239,240} Pu	0.19~0.65		ND	0.17~0.90	
海産生物	シラス	東海村地先 1点 約10km以遠 1点*	核種分析	1回/3か月	⁹⁰ Sr	ND	Bq/kg・生	ND	ND	
					¹³⁷ Cs	ND		ND	ND	
					¹³⁴ Cs	0.040		0.051	ND~0.11	
					¹³² Cs	ND		ND	ND	
					¹⁴⁴ Ce	ND		ND	ND	
					^{239,240} Pu	ND		ND	ND	
	カレイ又はヒラメ	東海村地先 1点 約10km以遠 1点*	核種分析	1回/3か月	⁹⁰ Sr	ND	Bq/kg・生	ND	ND	
					¹³⁷ Cs	0.049		0.056	0.044~0.14	
					¹³⁴ Cs	ND		ND	ND	
					¹³² Cs	ND		ND	ND	
					¹⁴⁴ Ce	ND		ND	ND	
					^{239,240} Pu	ND		ND	ND	
貝類	久慈浜地先 1点 約10km以遠 1点*	核種分析	1回/3か月	⁹⁰ Sr	—	Bq/kg・生	ND	ND		
				¹³⁷ Cs	—		ND	ND		
				¹³⁴ Cs	—		ND	ND		
				¹³² Cs	—		ND	ND		
				¹⁴⁴ Ce	—		ND	ND		
				^{239,240} Pu	—		ND	ND		
褐藻類 (ワカメ又はヒジキ等)	久慈浜地先 1点 磯崎地先 1点 約10km以遠 1点*	核種分析	1回/3か月	⁹⁰ Sr	0.025, 0.026	Bq/kg・生	0.033	0.022~0.065		
				¹³⁷ Cs	ND		ND	ND		
				¹³⁴ Cs	0.049, 0.054		0.049	ND~0.094		
				¹³² Cs	ND		ND	ND		
				¹⁴⁴ Ce	ND		ND	ND		
				^{239,240} Pu	0.0035, 0.0036		0.0036	ND~0.0089		
魚網	東海村地先において曳航の魚網	1回/3か月	吸収線量 表面線量	1回/3か月	β線 γ線	ND ND	nGy/h nGy/h	ND ND	ND ND	
船体	甲板	1回/3か月	吸収線量 表面線量	1回/3か月	β線 γ線	ND ND	nGy/h nGy/h	ND ND	ND ND	
海岸水	久慈浜海岸 1点 阿字ヶ浦海岸 1点 南北約20km点 各1点*	1回/6か月	核種分析	1回/年	全β放射能 ³ H	ND, 0.041	Bq/L	0.059, 0.066	ND~0.085	
					³ H	ND		ND	ND	
					⁹⁰ Sr	ND		ND	ND	
					¹³⁷ Cs	ND		ND	ND	
					¹³⁴ Cs	ND		ND	ND	
					¹³² Cs	ND		ND	ND	
海岸砂	久慈浜海岸 1点 阿字ヶ浦海岸 1点 南北約20km点 各1点*	1回/3か月	表面線量	1回/3か月	β線 γ線	62.79 33.44	min ⁻¹ nGy/h	64.73 35.41	52~86 27~52	

(注1) ND: 定量下限値未満を示す。

(注2) *: 比較対照区域を示す。

(注3) 平常の変動幅は、1997年度~2006年度までの過去10年間の変動幅である。

(注4) 平常の変動幅は、2004年度~2006年度までの過去3年間の変動幅である。

(注4)

独立行政法人日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター核燃料サイクル工学研究所 再処理施設（2007年度第3四半期）

測定対象	採取		測定		測定値			*比較対照区域	備考	平常の変動幅(注3)	
	採取点	頻度	対象	頻度	対象	最小～最大	単位	最小～最大		最小～最大(注4)	
空間放射線	線量率	周辺監視区域内 9点 周辺監視区域外 3点	連続	γ線	連続	γ モニタリング ポスト 36~47 線 モニタリング ステーション 32~37	nGy/h	33	モニタリングポスト8基 モニタリングステーション4基	33~46 (42±9) 31~37 (33±5)	
	積算線量(TLD)	周辺監視区域内 15点 周辺監視区域外 25点	連続	γ線	1回/3か月	γ線	50~110	μGy/91日	50~100	9月26日～12月26日	40~120 (80±40)
空気	浮遊じん	周辺監視区域内 3点 周辺監視区域外 4点	連続	核種分析	1回/週	全α放射能	0.027~0.046	mBq/m ³	0.030~0.039		ND~0.088
					1回/週	全β放射能	ND~0.74		ND		ND~0.93
					1回/3か月	⁹⁰ Sr	ND		ND		ND
					1回/3か月	¹³⁷ Cs	ND		ND		ND
	ヨウ素	周辺監視区域内 1点 周辺監視区域外 3点	連続	¹³¹ I	1回/週	¹³¹ I	ND	mBq/m ³	ND		ND
気体状ベータ放射能濃度	周辺監視区域内 1点 周辺監視区域外 3点	連続	⁸⁵ Kr	連続	⁸⁵ Kr	ND	kBq/m ³	ND		ND	
水分中 ³ H	周辺監視区域外 2点	連続	³ H	1回/月	³ H	ND	Bq/L	ND		ND~6.9	
雨水	周辺監視区域内 1点	連続	³ H	1回/月	³ H	ND	Bq/L			ND~4.8	
降下じん	周辺監視区域内 1点	連続	全β放射能	1回/月	全β放射能	7.3~12	Bq/m ²			ND~65	
飲料水	周辺監視区域内 1点 周辺監視区域外 3点	1回/3か月	全β放射能 ³ H	1回/3か月	全β放射能 ³ H	0.052~0.072 ND	Bq/L	0.058 ND		ND~0.090 ND	
葉菜	周辺監視区域外 3点	1回/3か月	核種分析	1回/3か月	¹³¹ I	ND	Bq/kg・生	ND	対象:ホウレン草, キャベツ	ND	
				1回/年	⁹⁰ Sr	ND, 0.11		0.058		ND~0.21	
				1回/年	¹³⁷ Cs	ND		ND		ND	
1回/年	^{239,240} Pu	ND	ND	ND							
精米	周辺監視区域外 3点	1回/年	¹⁴ C ⁹⁰ Sr	1回/年	¹⁴ C ⁹⁰ Sr	0.23 ND	Bq/g・炭素 Bq/kg・生	0.22 ND		0.23~0.27 ND	
牛乳	周辺監視区域外 2点	1回/3か月		1回/3か月	¹³¹ I	ND	Bq/L・生	ND		ND	
				1回/年	⁹⁰ Sr	ND		0.021		ND~0.034	
表土	周辺監視区域内 2点 周辺監視区域外 3点	1回/年	核種分析	1回/年	⁹⁰ Sr	ND~3.8	Bq/kg・乾	0.43		ND~6.1	
					¹³⁷ Cs	4.5~15		18		2.8~36	
					^{239,240} Pu	0.11~0.60		0.74		0.058~1.2	
河川水	新川 3点 久慈川上流 1点*	1回/6か月		1回/6か月	全β放射能	ND	Bq/L	0.060		ND~0.21	
					³ H	ND		ND		ND	
河底土	新川 3点 久慈川上流 1点*	1回/6か月	全β放射能	1回/6か月	全β放射能	500~570	Bq/kg・乾	730		450~720	

(注1) ND: 定量下限値未達を示す。

(注2) *: 比較対照区域を示す。

(注3) 平常の変動幅は、空間放射線については2004年度～2006年度までの過去3年間、その他の測定対象については1997年度～2006年度までの過去10年間の変動幅である。但し、積算線量については、測定地点S-4が周辺監視区域内の施設近傍であることから、自然放射線の変動に近傍施設の寄与が付加されたものと評価されたため、同地点の2005年10月～12月までの期間を除いた。また、空気中ヨウ素については、1999年9月30日に発生したJCO東海事業所の臨界事故の影響が見られた。

(注4) 平常の変動幅の空間放射線については、上段の数値は最小～最大を、下段の()数値は平均±3σを表す。また、その他の測定対象については最小～最大を表す。